

希望を胸に
入学・入園

町内の小・中・高校やこども園では、4月6日と8日に入学式・入園式が行われ、新入生たちが希望に胸を膨らませて新しい生活をスタートさせました。



誓いの言葉を述べる小池悠太さん(猪苗代中学校)

111人が決意を新たに

町内3中学校の入学式は4月6日に行われ、新1年生111人が希望を胸に新たな学びの門をくぐりました。

猪苗代中学校には84人が入学。真新しい制服に身を包んだ新入生たちが体育館に入場すると、在校生や保護者らが拍手で迎えました。式では、生徒一人一人の名前が呼ばれた後、宇南山忠明校長が式辞。新入生を代表し、小池悠太さんが「伝統を受け継ぎ、勉強や部活動に励みます」と誓いのことばを述べました。



開園したひまわりこども園の子どもたち

楽しい園生活が始まる

ひまわりこども園とさくらこども園の入園式は4月8日に行われ、新入園児たちが楽しい園生活をスタートさせました。

町内の4幼稚園と保育所が統合され、初めての入園式となったひまわりこども園では、285人の乳幼児が同時に入園しました。式では、新入園児が大勢の保護者や来賓に拍手で迎えられ入場。関和清智園長が入園を許可し、「元気なあいさつをして先生の言うことをよく聞きましょう。毎日元気にこども園に来てください」と式辞を述べました。



緊張した面持ちで入学式に臨む1年生(翁島小学校)

小学校生活への希望を胸に

町内6小学校の入学式は4月6日に行われ、新1年生122人が希望に満ちた小学校生活をスタートさせました。

10人が入学した翁島小学校では、新入生が入場すると在校生らは大きな拍手で歓迎。児童一人一人の名前が呼ばれた後、大堀昌弘校長が新入生代表の野口あすみさんに教科書を手渡しました。大堀校長は「小学校は楽しいところです。勉強や運動に取り組み、毎日元気に登校しましょう」と式辞を述べました。



晴れの日を迎えた新入生(猪苗代高校)

伝統を受け継ぐ62人が入学

猪苗代高校の入学式は4月8日に行われ、普通科30人、観光ビジネス科32人の合わせて62人が、夢と希望を胸に高校生活のスタートを切りました。

式では、二瓶晃一校長が全員の入学を許可し「主体的に学び、互いに尊敬しながら新たなことにチャレンジしてほしい」と式辞。新入生を代表し、普通科の増子廉大良さんが「猪苗代高校の一員として誇りを持ち、先輩たちが築き上げてきた伝統を受け継いでいきたい」と誓いのことばを述べました。



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

お姉ちゃんたちと一緒に遊ぶのが大好きな朋慧ちゃん。パパとママは「健康でやさしい人になってほしいです」と話します。

ともえ 眞田 朋慧 ちゃん

平成27年2月生まれ
～上新町
晃法さん・萌恵さん夫婦の三女

みかんやバナナなどの果物が大好きな朋慧ちゃん。「一歳になる前から歩き始め、今では楓音ちゃん(6歳)、陽里ちゃん(5歳)の二人のお姉ちゃんとおいかけっこをして遊んでいます」とママの萌恵さんは笑顔で話します。

「愛犬のハナと散歩に行くときは、いつもリードと一緒に持ってニコニコしながら歩いていきます」とパパの晃法さんは話します。

両親よりもお姉ちゃんたちと手をつなぐことが多いんだとか。「お姉ちゃんたちの歯磨きの仕上げもしてくれているんですよ。寝るときは、お姉ちゃんたちとお休みのチューをするんです」とママの萌恵さん。

家族の愛情をたっぷり受けて、朋慧ちゃんはすくすく成長しています。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(02)2111

パネル展 斗南藩とその史跡



好評により2回目の開催となったパネル展

パネル展の内容を説明する鈴木さん

猪苗代の偉人を考える会。パネル展「斗南藩とその史跡」斗南訪問の記録を加えて開催中

猪苗代の偉人を考える会(江花俊和会長)は、学び的な展示ホールにおいて「斗南藩とその史跡」斗南訪問の記録を加えて開催しています。

昨年11月に開催した同パネル展が好評だったことから、2回目の開催となりました。

戊辰戦争に敗れた会津藩は、当時生後5カ月の松平容大が後を継ぎ、斗南藩3万石を立藩しました。この時に約1万7千人が会津から斗南の地(現在の青森県むつ市)に移住し、産業や教育など新たな町づくりに着手しました。

同会メンバーの鈴木清孝さんは「歴史の節目となった戊辰戦争の後、会津藩と共に土津神社が一時斗南藩へ遷宮した。7人の藩士が猪苗代からご神体を移した記録があるので、町民にも学んでほしい」と話しました。

同パネル展は、6月30日(木)まで開催しています。